

マニフェスト評価・教育部門

テーマ	マニフェスト記載(原文)	点数 評価	検証 可能性	妥当性 的確性	優先 順位
1	公民館等の利用規則や申し込み書類・ルール利用者本位に簡素化します。 (取り組み) 12月28日、1月4日を利用可能にした。電話による仮予約受付を導入。利用実態により団体の月の利用回数を増やした。簡素と言うより利用に当たっての金額負担が強いられ、利用者の不満を増大させた。	20	○	○	○
2	親同士が子育てを学びあい助け合うあぷレーセンターを設置し、児童館もない状況を一変させます。 (取り組み) 市内4箇所の子育て支援センターの事業拡大午前中の利用のみだった支援センターの施設開放について、H20年度から月・金の週2回午後3時まで拡大した。現状は学習塾通いの子供が多く、なかなか困難な面がある。	40	○	○	○
3	児童公園を充実させ、安心して遊べる場所を作ります。 (取り組み) H19年度4公園、H20年度は7公園の遊具、または施設の改修を実施。H21年度は7公園に遊具を設置。H20年度からは市民と協働の公園作りに着手し、公園街区の市民と15回に亘る検討会を実施。 藤代南しいのき公園完成。H22年度に戸頭公園に高齢者用健康遊具を7基設置した。 近隣の親子間の交流に若干役に立っている	50	○	○	○
4	子供の居場所作り支援事業の土曜日の時間枠を延長します。 (取り組み) 今後多角的に検討していきたい	0	○	○	△
5	小中学生に”命の大切さ””社会への貢献”を実践教育(生命教育、体験教育、郷土史教育)体験させます。意欲を持った若者を育成し取手への定着を推進します。 (取り組み) 従来からの取り組み。社会副読本「とりで」等を活用し学習を実施。道徳教育等を通して生命尊重の教育を実施。総合的な学習の時間や特別活動の中で自然体験活動や職場体験活動を実施。現状は世帯数は変わらないが人口が年々減少し、若者の他地域への転出が止まっていない。	20	△	○	○
6	就業能力を育成する専門学校をを設置し、社会人としての定着を支援します。	0	○	×	○

